

# ACFE JAPAN CONFERENCE 2013

## 研究会発表

東京不正検査研究会  
不正の早期発見研究会  
コンピュータ・フォレンジック研究会

2013年10月18日

# 本日の発表者紹介

東京不正検査研究会 小西 勇司

不正の早期発見研究会 中西 和幸

コンピュータ・フォレンジック研究会 村野 明

(オブザーバー)前田 伸, 高橋 孝治

(司会進行) 米澤 勝

# 東京不正検査研究会

## I. 研究会概要(2008年8月発足)

満5年の活動期間で11月より6年目(第6期)がスタート  
発起人: 米澤 勝, 高橋孝治, 前田 伸

## II. 研究目的

「不正事例を考察し、不正の発見および防止の知見を共有することにより  
研究会メンバーの不正に関する知識と不正防止の技能の向上を目指さす」

## III. 第5期の体制及び研究会実績

(第5期幹事 村田一、小西勇司)

開催数: 13回 (不正の早期発見研究会との共同開催4回)

講師形式 外部講師 6回 (ACFE JAPAN理事 2回)

研究会メンバー 5回 (Member Discussion 2回)

研究会開催日 毎月第2水曜日(18:30 ~ 20:30)

参加メンバー 28名(第4期) ⇒ 43名(第5期現在)

# 東京不正検査研究会

## Ⅲ.第5期の研究会実績 活動期間:2012年11月～2013年10月

開催日	研究テーマ	開催形式	発表者	講師形式
2012/11/14	第1回 「東電福島原発事故 政府事故調査委員会報告書の考察」	単独開催	Member Discussion	研究会メンバー
2012/11/29	第2回 「中小企業と粉飾決算」	※共同開催	佐藤真言氏	外部講師
2012/12/12	第3回 「専門職集団はなぜ間違えるのか警察の場合を主要例として」	※共同開催	◎広畑史朗氏	外部講師
2013/01/09	第4回 「内部監査人とコーポレートガバナンス(現場からの報告)」	単独開催	大谷 剛氏	研究会メンバー
2013/02/13	第5回 「R社 内部監査部の紹介」	単独開催	川上利敏氏	外部講師
2013/03/13	第6回 「フォレンジックによる不正対応について」	単独開催	松本隆氏	研究会メンバー
2013/04/10	第7回 「行列の出来る監査役室」	単独開催	米本薫氏	外部講師
2013/05/08	第8回 「欧州大陸の職業的専門家の倫理規程について」	単独開催	伍井和夫氏	研究会メンバー
2013/06/12	第9回 「コンピュータフォレンジックを活用した 調査と不正の予防・監査」	単独開催	岡田 大輔氏	研究会メンバー
2013/07/10	第10回 「J-CASTニュース「企業不正に手を染めるフツワーの人々」	単独開催	Member Discussion	研究会メンバー
2013/09/11	第11回 「監査における不正リスク対応基準」	※共同開催	◎宇澤亜弓氏	外部講師
2013/09/25	第12回 「不正調査ガイドライン」	※共同開催	松澤公貴氏	外部講師
2013/10/09	第13回 「第5期のまとめ 2013年の適時開示事案の概観」	単独開催	甘粕潔氏	研究会メンバー

※「不正の早期発見研究会」との共同開催  
◎発表者がACFE JAPAN理事

## IV. 第5期の発表事例 (Member Discussion )

「J-CASTニュースサイト企業不正に手を染めるフツウの人々」(甘粕潔氏)から不正の事例を題材にして、不正心理や手口の分析並びに予防策を検討した。

**事例①** 従業員不正 ビール券、切手、回数券 横領に使われやすい「換金性の高い金券」

営業課長が、販促景品を(6年間)偽造発注し、商品券を納入させ、換金着服 総額1億3千万

**事例②** 従業員不正「余人をもって代えがたい人材」に要注意会社を食い物にすることも

営業本部長が、業者と共謀し、外注費を億単位で搾取し、折半

**事例③** 従業員不正 チェックする人とされる人兼務すれば「横領」は起こる

財務担当執行役員が会社の小切手を銀行窓口で現金化 横領総額 1億7千万

**事例④** 海外顧問弁護士不正 法務責任者の社内弁護士が横領

現地社内弁護士が、架空訴訟費用を振り込ませて着服 横領総額\$9MM(7億円)

甘粕 潔氏 「J-CASTニュース企業不正に手を染めるフツウの人々」より

# 東京不正検査研究会

## V. 今後の課題

2013年11月より、新幹事体制による第6期が活動開始！

1. 既存メンバーの参加機会を増やす
2. 会場の公共施設利用を増やす
3. タイムリーな不祥事・不正事象の対応

研究会参加希望者の方へ

ACFE JAPAN事務局にご連絡願います。

(e-mail address [info@acfe.jp](mailto:info@acfe.jp))

# 不正の早期発見研究会 概要

- 設立 2009(平成21)年10月

- 目的

「過去の不正事例において顕在化していた不正の兆候を分析し、不正発見のためのスキルとして一般化・体系化する」

- 参加メンバー(設立時14名, 現在16名)

- 研究会開催実績

概ね毎月1回, 第4水曜日開催

# 不正の早期発見研究会

これまでの主な研究事例 (\*印は外部講師, 東京研究会と合同開催)

開催月	研究テーマ		発表者(敬称略)
2013年9月	「不正調査ガイドライン」	*	松澤 公貴
2013年7月	「不公正ファイナンス」		高橋 孝治
2013年4月	I社役員責任追及訴訟第一審判決を読む		中西 和幸
2013年3月	N社「特別調査委員会調査報告書」を読む		米澤 勝
2013年2月	アリエリーの『ずる』を読む		甘粕 潔
2012年12月	専門家集団はなぜ間違えるか	*	広畑 史郎
2012年11月	「中小企業と粉飾決算」	*	佐藤 真言
2012年10月	O社子会社社会計不正調査報告書を読む		真柳 元
2012年7月	中国子会社の経営管理		藤谷 克己
2012年5月	墮ちた会計士		柳 俊一郎

# 不正の早期発見研究会

## 研究会事例のご紹介

### アリエリーの『ずる——嘘とごまかしの行動経済学』

行動経済学者Dan Arielyの著書は、CFEにどのような示唆を与えるか、発表者による解説と参加者によるディスカッション

## 研究会事例のご紹介

### 「中小企業と粉飾決算」

当時上告中であった発表者の実体験に基づく、中小企業の粉飾決算の実態、東京地検特捜部による取調べの問題点などを聴講

# 不正の早期発見研究会

## 今後の研究会の運営について

メンバーによる発表とディスカッションを中心に、全員参加型の研究会という方向性は維持しながら、時宜に応じた外部講師への登壇依頼、他の研究会との交流を通じて、新しい知見を取り入れていきたい。

## 研究会参加希望者の方へ

講師の話聞きに来るという姿勢ではなく、積極的にご発言をいただける参加者を募集しています。

ACFE事務局または米澤まで、ご連絡ください。

mail to : [m.yone.0531@gmail.com](mailto:m.yone.0531@gmail.com)

# コンピュータ・フォレンジック研究会 概要

- 設立：2009年11月
- 目的：コンピュータを媒介とした犯罪の不正調査法
- 参加メンバー（設立時4名，現在13名）
- 研究会開催実績，開催頻度  
毎月第一土曜日（1月、5月は除く）

# コンピュータ・フォレンジック研究会

## これまでの研究事例

開催日	研究テーマ	発表者
2010年9月	Cフォレンジック不正犯罪への引き金を引く	松本 隆
2010年12月	日本公認会計士協会のIT委員会研究報告第38号の解説	高橋 孝治
2011年3月	監査証拠にかかわる公認会計士協会の報告書 監査基準委員会第12号と第46号の解説	高橋 孝治
2012年2月	スマートフォン・フォレンジックの現状	大徳 達也
2012年4月	スマートフォンのセキュリティ「危険回避」	松本 隆
2012年8月	金融庁情報セキュリティ報告書(平成23年度版)	高橋 孝治
2012年12月	ネットワーク調査とTorによるWebの匿名化	松本 隆
2013年3月	遠隔操作ウィルス事件	松本 隆
2013年7月	重要インフラからサイバー攻撃を守るにはどうしたらよいか	大徳 達也、 松本 隆

# コンピュータ・フォレンジック研究会

研究会事例のご紹介

**「ジュリアン・アサンジ ウィキリークスの秘密」**

**DVDを見て意見交換会**

研究会のご紹介

**「重要インフラからサイバー攻撃を守るにはどうしたらよいか」**

**平成24年警察白書トピックスIVサイバー攻撃への  
対処の説明と意見交換**

# コンピュータ・フォレンジック研究会

## 今後の研究会の運営について

メンバーによる発表と意見交換、必要に応じ外部講師の依頼、他研究会との交流を通し、知識を積み上げたい。

## 研究会参加希望者の方へ

IT関連(の不正調査)に興味を持ち、積極的に意見交換をしていただける方を募集しております。

ACFE事務局または村野までご連絡を下さい。

mail:aamurano@palette.plala.or.jp

# CFE研究会 東西交流会

東西交流会発足のきっかけ(2010年10月)

第1回ACFEカンファレンス終了後の懇親会

東京地区の研究会と関西の研究会で、交流会開催に向けて、具体的な話し合いを持つ

東西交流会開催実績

第1回(東京) 2011年1月26日

第2回(大阪) 2012年1月31日

第3回(名古屋) 2013年1月23日

第4回(東京) 2014年1月開催予定

# CFE研究会 東西交流会

## これまでの発表事例

開催場所	研究テーマ	所属	発表者(敬称略)
名古屋	N社解約金請求事件最高裁判決	大阪	高木 謙太
	T銀行取締役責任追及訴訟控訴審判決	発見	中西 和幸
大阪	社内不正の調査と監査役の対応	大阪	山口 利昭
	「面白い恋人」vs.「白い恋人」	発見	大塚 正美
東京	不正調査と刑事告訴	大阪	山口 利昭
	不公正ファイナンス	東京	高橋 孝治

### <課題>

- ・平日午後開催となり、参加者が限られる(10人前後)

# 意見交換

テーマ

「研究会に参加することの意義」

# 質 疑

ご清聴ありがとうございました。